

第1回恵那南地区中学校あり方検討委員会

日時：平成26年6月6日（金）19時30分～

場所：岩村振興事務所 大会議室

1. 開会あいさつ（恵那市教育長）
2. 委嘱式（恵那市教育委員長）
3. 教育委員会への提言依頼について
4. 自己紹介
5. 議事
 - （1）委員会設置要綱について
 - （2）恵那南地区中学校あり方検討委員長並びに副委員長の選任について
 - ・委員長あいさつ
 - ・副委員長あいさつ
 - （3）これまでの取り組みについて
別紙「恵那南地区中学校の再編について」
 - （4）年間事業計画（案）について
 - （5）現地視察について
7月15日（火） 串原小中学校・恵那西中学校・上矢作中学校
 - （6）その他
次回開催 月 日

平成26年度恵那南地区中学校あり方検討委員会委員名簿

区分	役職名等	氏 名	備考
小中学校代表	岩邑小学校長	足立 篤美	
	山岡中学校長	丸山 優	
地域協議会代表	岩村地域協議会副会長	勝川 哲男	
	山岡地域協議会長	大庭 勝徳	
	明智地域協議会長	阿部 道長	
	串原地域協議会委員	三宅 勝継	
	上矢作地域協議会長	鈴木 峰夫	
自治連合会代表	岩村町自治連合会長	西尾 公男	
	山岡町自治連合会長	西尾 忠昭	
	明智町自治連合会長	中根 貞好	
	串原第3区自治会長	大嶋 和司	
	上矢作町自治連合会長	山内 忠良	
中学校PTA代表	岩邑中PTA副会長	榎本 錦也	
	山岡中PTA会長	成瀬 和男	
	明智中PTA会長	成瀬 功一	
	串原小中PTA会長	大島 成通	
	上矢作中PTA副会長	田之上 和代	
小学校PTA代表	岩邑小PTA会長	吉村 政則	
	山岡小PTA会長	山本 浩嗣	
	明智小PTA会長	大内 鉄平	
	上矢作小PTA会長	堀 靖広	
保育園保護者会代表	岩村保育園保護者会長	山本 純	
	山岡保育園保護者会長	小木曾 守	
	明智保育園保護者会長	丹羽 英樹	
	吉田保育園保護者会長	澤野 繁紀	
	串原保育園保護者会長	中垣 野歩	
	上矢作保育園保護者会長	大島 孝介	
事務局	学校再編対策室長	勝川 甲子	
	学校再編対策室次長	水野 教正	
	学校再編対策室主任主査	市川 新祐	
	学校再編対策室主任主査	西尾 克子	
	学校再編対策室係長	梅村 浩三	
	学校再編対策室主査	市川 篤励	
	学校再編対策室主査	山田 耕司	
教育委員会	教育委員長	鈴木 隆一	
	教育長	大畑 雅幸	
	教育次長	小林 規男	
	教育次長	伊藤 勝彦	

恵那南地区中学校あり方検討委員会 様

恵那南地区における適正な中学校のあり方に関する提言について（依頼）

恵那市の小中学校は、幼年人口減に伴う児童生徒の減少により、小規模化が進むとともに複式学級を余儀なくされる学校が増える傾向にあります。

小規模な学校は、個別指導や人間関係が深まりやすい等の良さをもっている一方で、子供たちに社会性を身につけさせ、豊かな教育水準・望ましい教育条件を確保していくことが困難と考えられます。

この状況に対して、次代を担う子どもたちにとって、望ましい教育環境はどうあるべきかという、新たな方向性を見出す必要があります。

現在、国や県・他市においては、少子化に対応すべき学校規模の適正化について検討されています。恵那市においても恵那市総合計画（H18～H27）に学校の小規模化に対応する教育のあり方についての研究が位置づけられ、小規模教育検討委員会からの報告書（H21年12月）では、恵那市の小中学校の適正規模条件として「小学校は学年単学級規模、中学校は学年複数学級規模」を考えるとされています。また、適正規模からみた恵那市の中学校のあるべき具体的姿の中で、恵那南地区の中学校のあり方についても、統合を視野に入れた地域協議を進めていくことが望ましいと判断されています。

つきましては、恵那南地区中学校の①適正配置条件②学校の統合について審議のうえ、平成27年3月までに提言をいただきますようお願い申し上げます。

平成26年6月6日

恵那市教育委員会

恵那南地区中学校あり方検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 少子化に伴う生徒数の減少を踏まえ、恵那南地区の中学校(以下「中学校」という。)のあり方を検討するため、恵那南地区中学校あり方検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議し、その結果を恵那市教育委員会(以下「教育委員会」という。)に提言するものとする。

- (1) 少子化に対応した今後の恵那南地区中学校のあり方に関すること。
- (2) 前項に掲げるもののほか、必要な事項。

(組織)

第3条 委員会の委員の定数は、30名以内をもって組織する。

2 委員会の委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 小中学校代表
- (2) 地域協議会代表
- (3) 自治連合会代表
- (4) 中学校 PTA 代表
- (5) 小学校 PTA 代表
- (6) 保育園保護者会代表
- (7) その他教育委員会が認める者

3 委員に欠員が生じたときは、速やかに委員を補充するものとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選出する。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、第2条に規定する提言を行った日までとする。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員長は、必要と認めたときは委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(会議の傍聴)

第7条 会議を傍聴しようとする者は、傍聴人受付簿に自己の氏名、住所及び年齢を記入し、係員の指示により傍聴席に着かなければならない。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育委員会事務局学校再編対策室において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成26年4月28日から施行する。

恵那南地区中学校あり方検討委員会スケジュール(案)

	委員会	開催日	内 容	備 考
4月	あり方検討委員 の推薦依頼			
5月				
6月	第1回委員会	平成26年6月6日	・委員委嘱 ・正副委員長の選任 ・これまでの取り組み説明 ・年間スケジュール説明	提言についての依頼 教育委員会→委員会
7月	第2回委員会	平成26年7月15日	・現地視察(串原小中・恵那西中・上矢作中)	授業参観
8月	第3回委員会		・現地視察を通しての各委員の感想等について ・中学校学級編成基準について ・恵那市(南部)の適正基準について ・統合すると仮定した場合の学校の位置等について	
9月	第4回委員会		・第3回委員会の発言のとりまとめ ・課題の洗い出しと課題に対する項目構成(案)について	
10月	第5回委員会		・課題の整理	
11月	第6回委員会		・課題の整理	
12月	第7回委員会		・課題の整理	
1月	第8回委員会		提言書(案)の検討・協議	
2月				
3月	第9回委員会		提言書の承認 教育委員会へ提言書を提出	
4月				

恵那南地区中学校あり方検討委員会現地視察

1. 期 日 平成26年7月15日（火）
2. 訪問校 串原小中学校、恵那西中学校、上矢作中学校
3. 移動方法 マイクロバス
4. 行 程
岩村振興事務所→明智振興事務所 →串原小中学校 → 恵那西中学校
(8:45) (9:10) (9:40～10:40) (11:40～12:40)

(給 食) → 上矢作中学校 → 岩村振興事務所・・・明智振興事務所
(～13:10) (14:05～15:05) (15:30) (15:50)
5. 視察内容
①串原小中学校・・・第2時限目 授業参観・施設見学 (9:40～10:10)
質疑応答 (10:20～10:40)
②恵那西中学校・・・第4時限目 授業参観・施設見学 (11:40～12:10)
質疑応答 (12:20～12:40)
給食 (12:40～13:10)
③上矢作中学校・・・第5時限目 授業参観・施設見学 (14:05～14:35)
質疑応答 (14:45～15:05)
6. その他
別紙出欠席報告書を7月1日（火）までに学校再編対策室（学校教育課内）市川まで返送ください。
***給食代「324円」を当日徴収しますのでご用意ください。**

問い合わせ先

恵那市教育員会 学校再編対策室 市川新祐

T E L : 0573-43-2112（内線 356） F A X : 0573-43-4137

別 紙

恵那市教育委員会 学校再編対策室 市川 行き (F A X 0573-43-4137)

恵那南地区中学校あり方検討委員会現地視察

出 欠 席 報 告 書

日 時 平成 26 年 7 月 15 日 (火) 8 時 45 分 ~ 15 時 30 分
場 所 串原小中学校・恵那西中学校・上矢作中学校

・ 出 席

・ 欠 席

出席の場合のみ

乗車場所 → 岩村振興事務所・明智振興事務所・直接現地

※ いずれかに○を付けてください

平成 年 月 日

氏 名 _____

(連絡先)

恵那南地区中学校あり方検討委員会 事務局 恵那市教育委員会 学校再編対策室 市川新祐	
住 所	509-7492 恵那市岩村町 545-1
T E L	(0573) 43-2112 (内線 356)
F A X	(0573) 43-4137
E-mail	Shinsuke_ichikawa@office.city.ena.gifu.jp

* 7 月 1 日 (火) までにご連絡ください。

恵那南地区 中学校の再編について

恵那市教育委員会

平成25年度の動き

1 教育委員会内に「学校再編対策室」を設置 (H25.4)

室長 1名

次長 2名

主任主査 3名

平成25年度の動き

2 該当地区への説明と意見聴取

8.26 上矢作地域協議会・上矢作中PTA役員

9.25 串原中PTA役員

9.2 山岡中PTA役員

11.17 明智中PTA役員

11.7 岩邑中PTA役員

12.12 山岡地域協議会

12.16 岩村地域協議会

12.18 明智地域協議会

26.2.5 串原地域協議会

平成25年度の動き

3 恵那南地区中学校あり方検討委員会準備会の開催(H26.3.6)

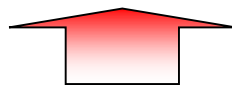
- ・設置要綱
- ・委員 等の検討

各地区地域協議会長
各地区自治連合会長

これからの時代を生き抜く子ども像

【これからの時代】

- ・先行き不透明な時代
- ・グローバル社会
- ・非正規社員の増大
- ・成長社会から成熟社会



どのような社会状況の中でもたくましく生き抜く力

ー主体性と社会性ー

- 自分から進んで何事にも挑戦する人間
- 課題(壁や障害)に対して、方法を考えて克服する人間
- さまざまな価値観の人と交わり、自分を高めていく人間
- 多くの人と積極的に働きかけ、協力して物事に取り組める人間

学校で身に付けたい力

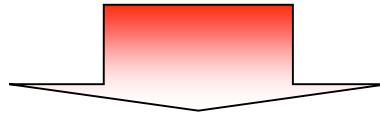
□主体性と社会性

- 挑戦する力
- たくましさ
- 人との関係を保つ力
- 壁を乗り越える力

自己学習力

人間関係調整能力

課題解決力



適切な人数の学校規模が必要不可欠

中学校教育で必要な環境

- 確かな学力が身につく専門性ある授業のできる環境
- 多くの仲間と切磋琢磨して向上し合える環境
- 多様な価値観をもつ仲間と人間関係づくりのできる環境
- 仲間とのトラブルが解消できるような環境
- より大きな集団による一体感ある感動体験のできる環境
- 豊富な種類から部活動を選択できる環境

小中学校の適正配置検討事業

□平成23年度⇒平成27年度 「恵那市総合計画後期計画」
学校教育の充実

【施策】 ①より質の高い教育の推進

＊ 今後加速する学校の小規模化に対応する教育のあり方について具体的な検討を行い、その結果に基づき学校再編を進める。



【主な事業】

□小中学校の適正配置検討事業

□学校再編事業

小規模教育検討委員会

【期間】

平成20年度、21年度の2年間（計10回開催）

【目的】

21世紀を生きる恵那市の子どもたちの教育環境について

(1)現状把握

(2)適正規模のあり方

(3)そこから生まれる課題

の3点について調査・検討をし、教育長に答申する。

【委員】

地域委員、PTA役員、教員、有識者等を13地区から選出

小規模教育検討委員会での結論

□望ましい規模

- 小中学校ともに、1学年で複数の学級が編制される規模
- 中学校では、各教科担任が満たされる規模

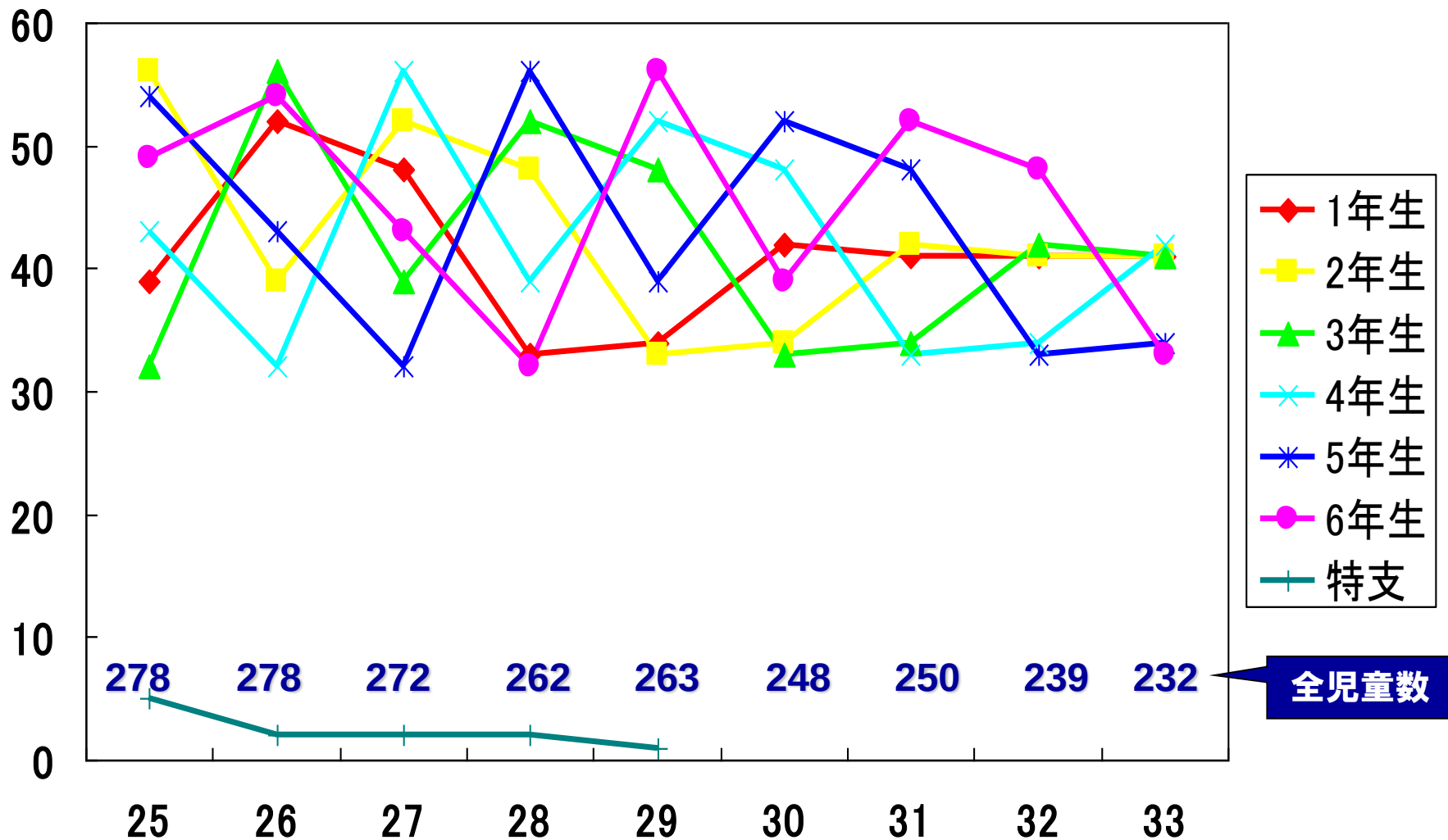


【許容範囲】(地理的条件を考慮して)

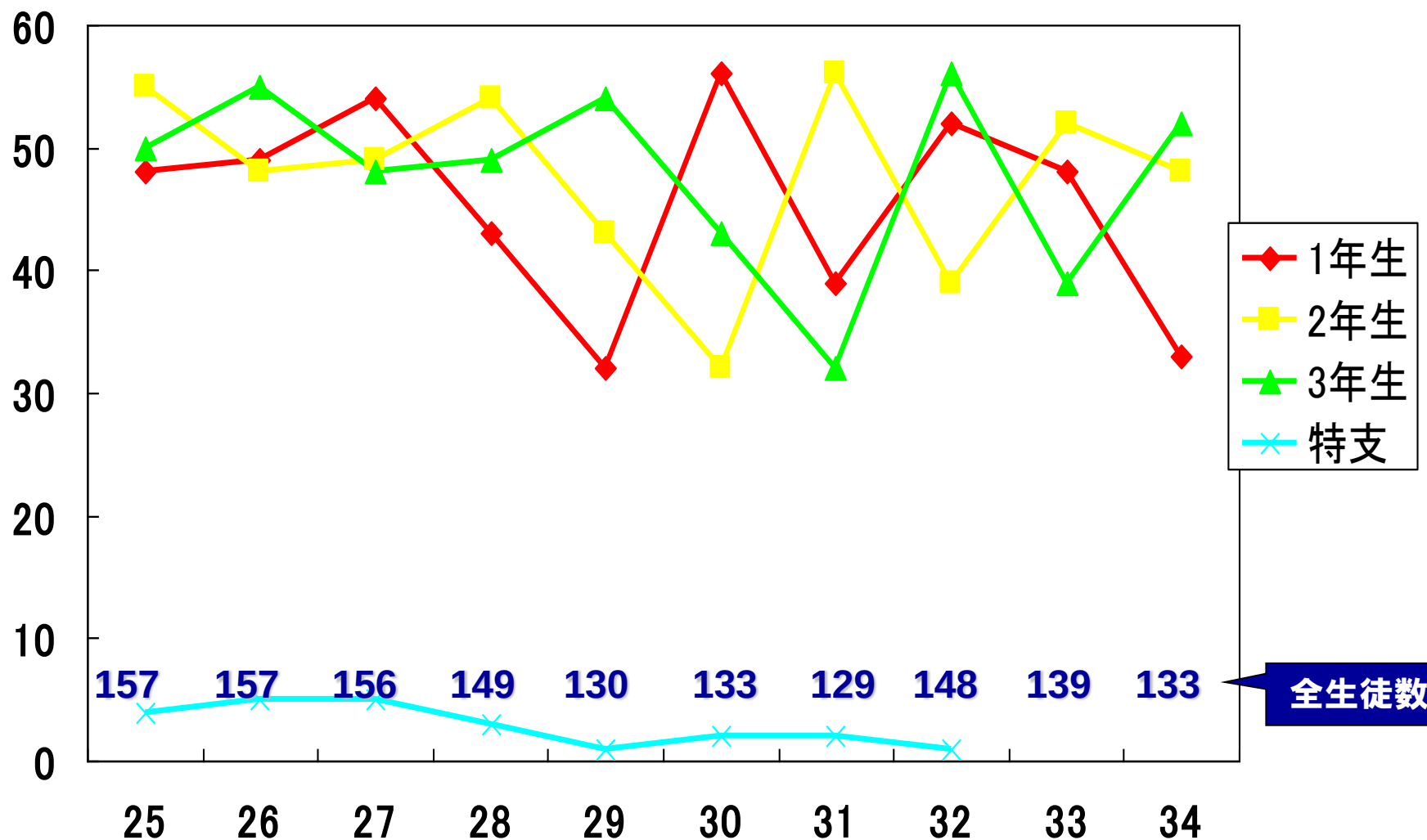
- 小学校⇒学年単学級規模
- 中学校⇒学年複数学級規模

＊小学校で複式学級、中学校で全学年が単学級
＊全校児童生徒数が50名以下が予想される場合
⇒協議会(保護者・学校・地域・行政)を立ち上げ、再編
を視野に入れた動きづくりをする必要がある。

岩邑小学校の児童数の推移



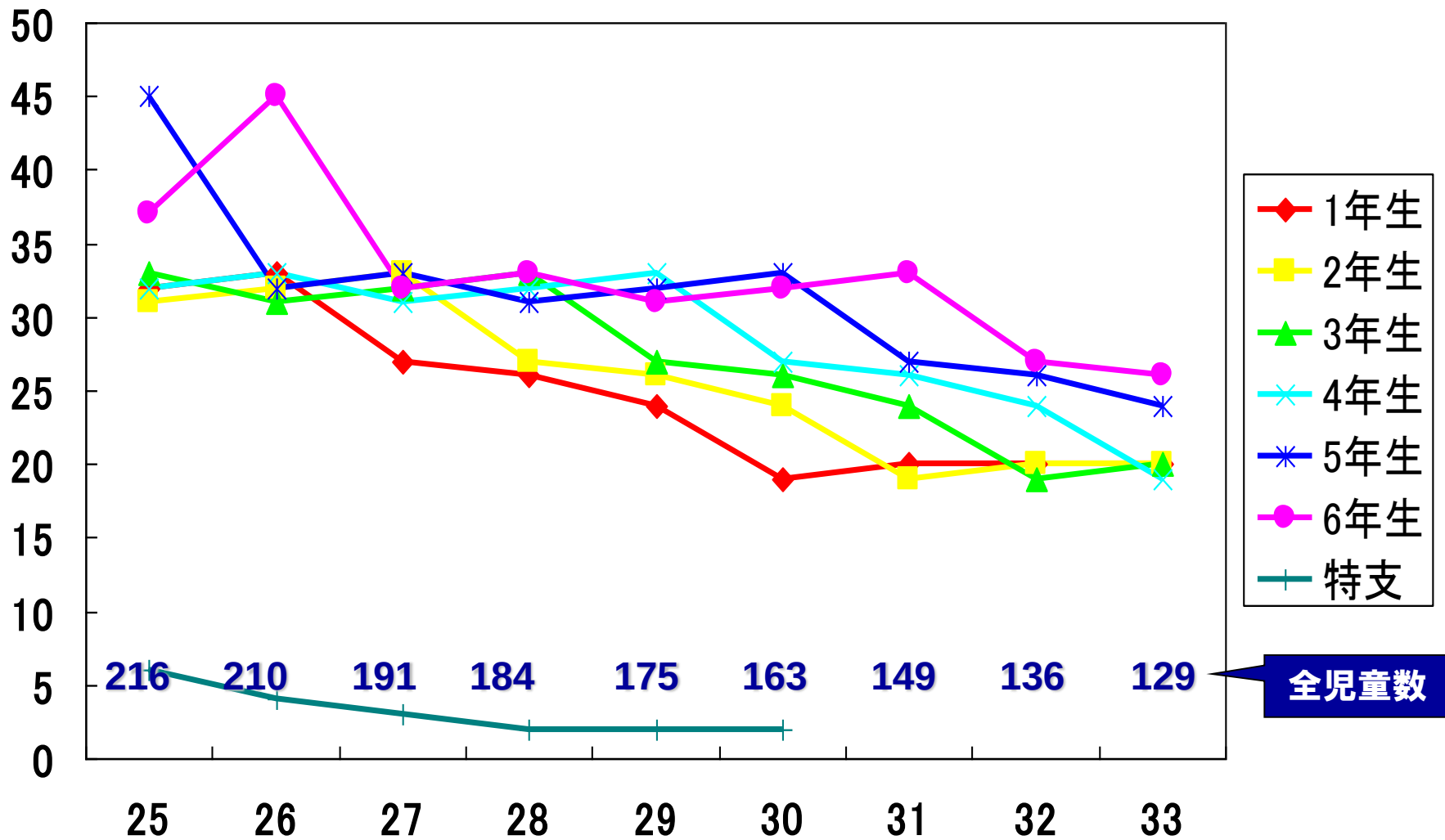
岩邑中学校の生徒数の推移



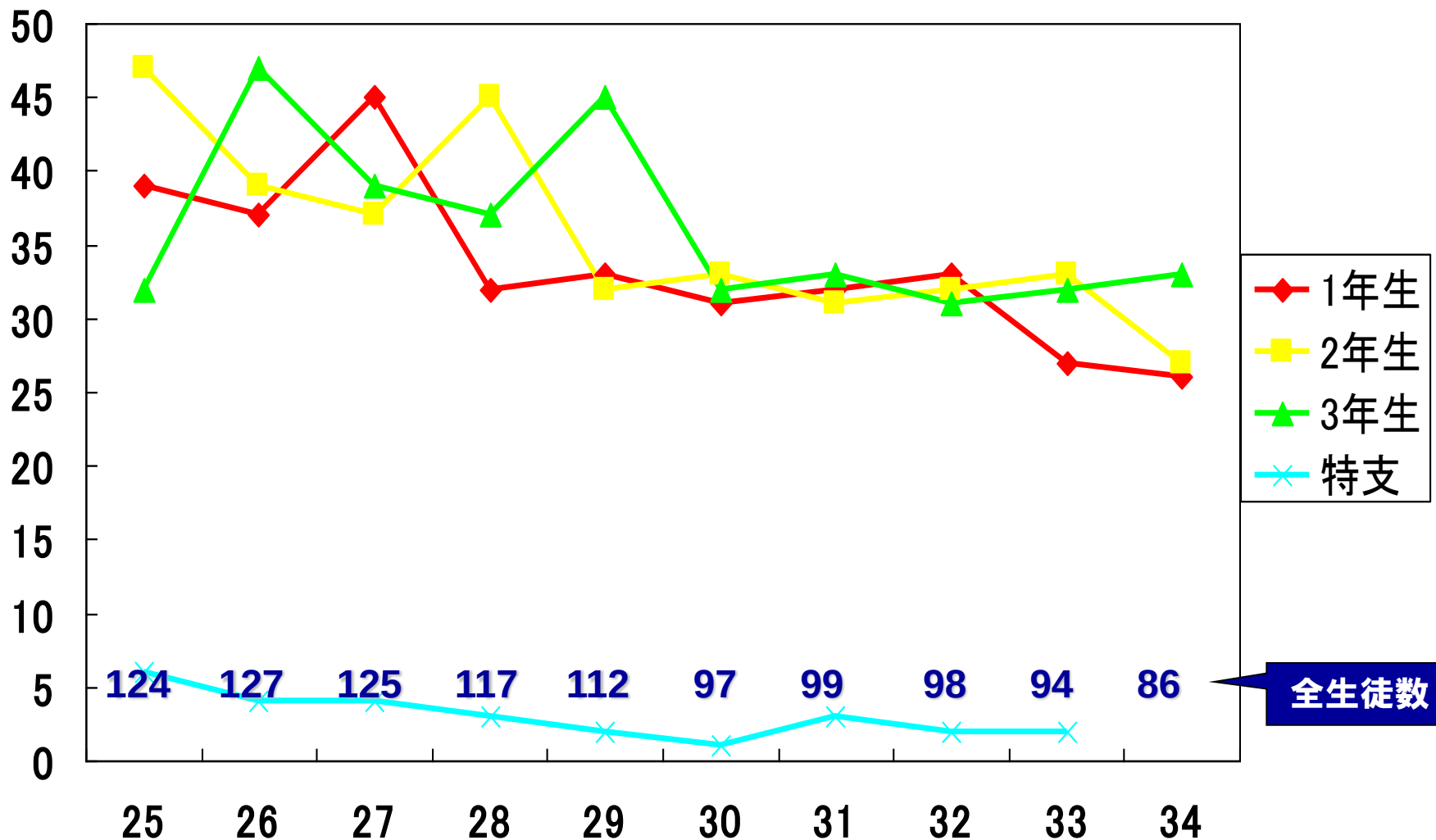
岩邑中の学級数と生徒数の推移

	H26		H27		H28		H29		H30		H31	
	学級数	生徒数										
1年	2	49	2	54	2	43	1	32	2	56	2	39
2年	2	48	2	49	2	54	2	43	1	32	2	56
3年	2	55	2	48	2	49	2	54	2	43	1	32
特支	2	5	2	5	1	3	1	1	1	2	1	2

山岡小学校の児童数の推移



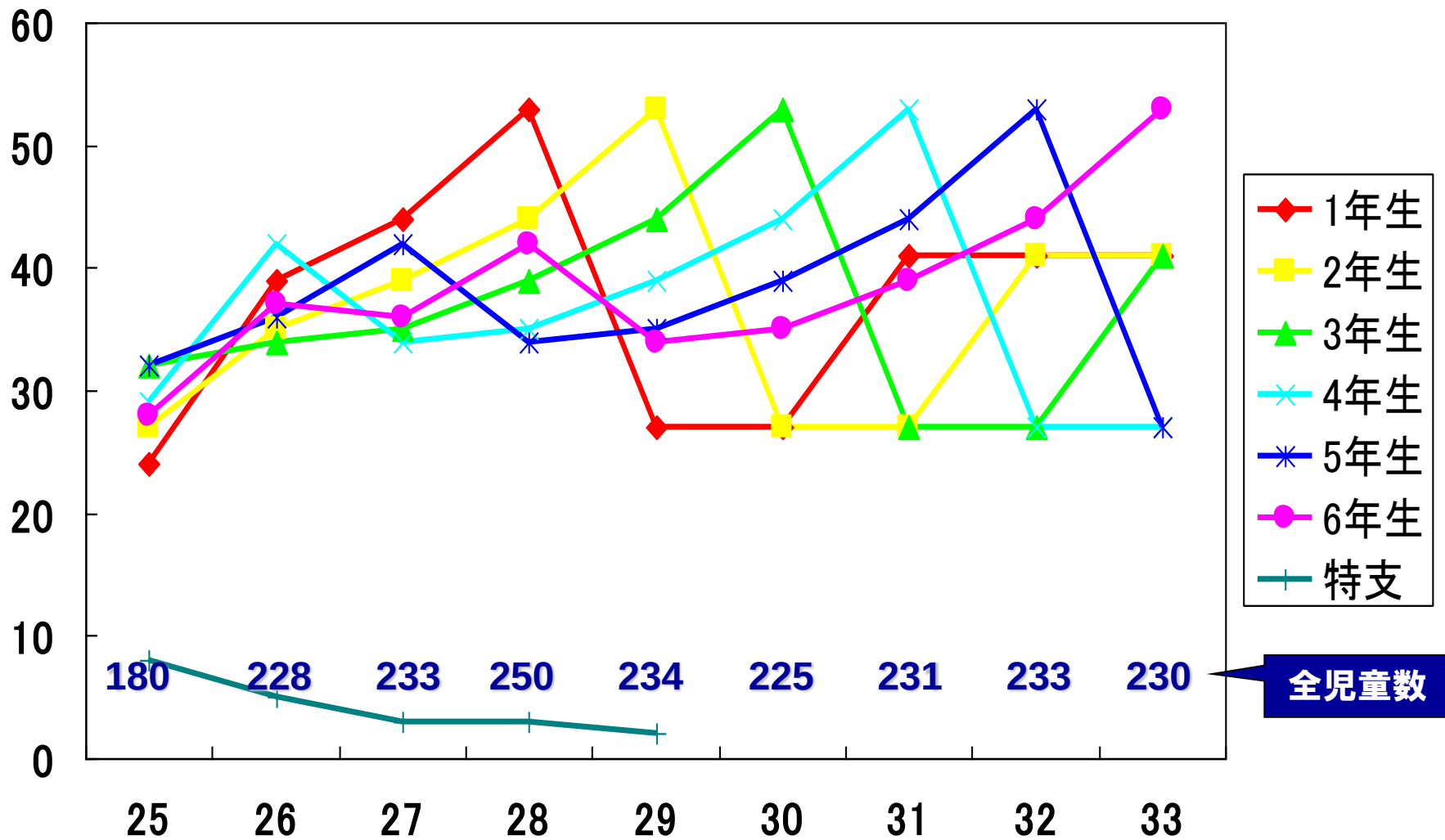
山岡中学校の生徒数の推移



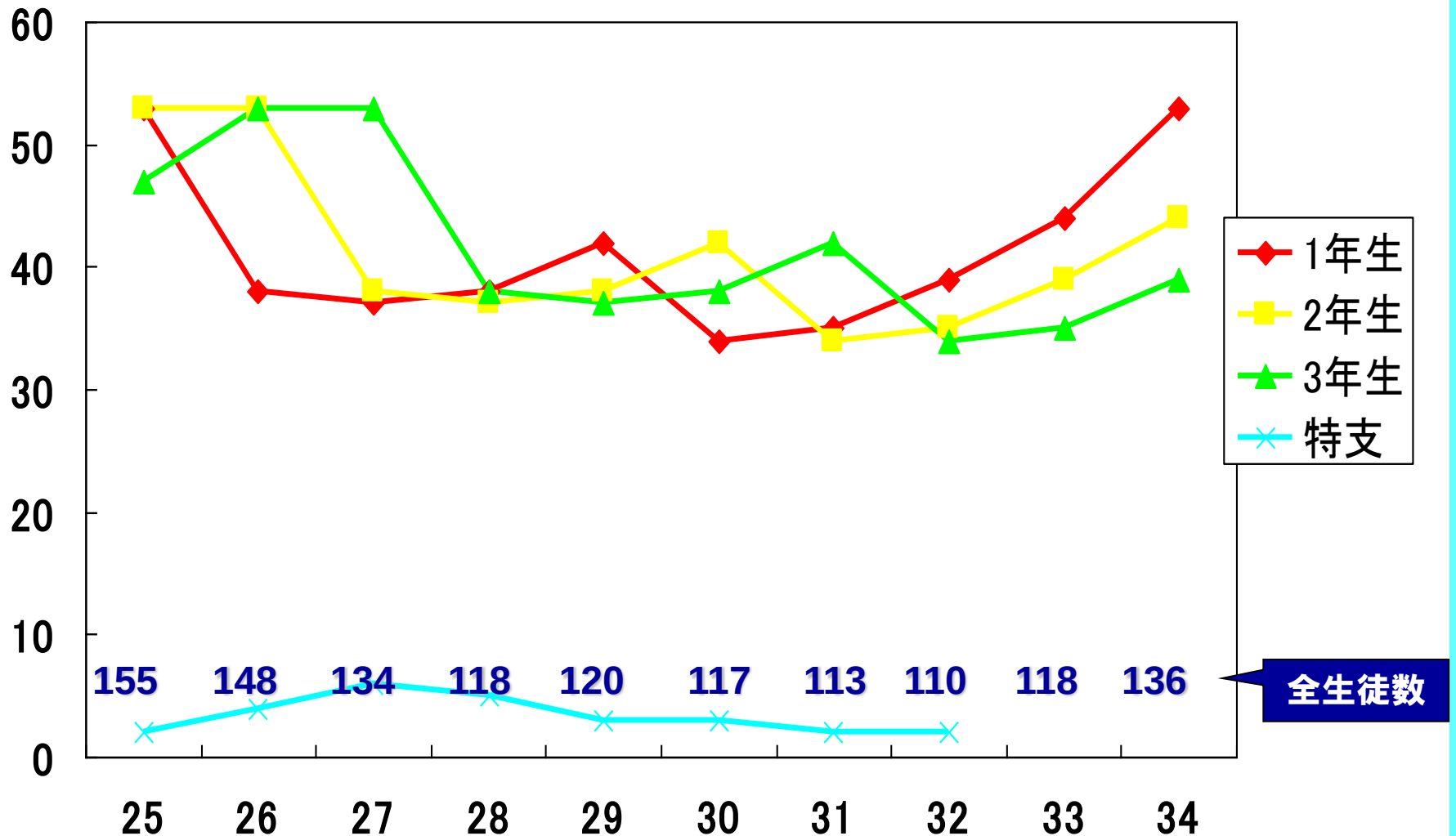
山岡中の学級数と生徒数の推移

	H26		H27		H28		H29		H30		H31	
	学級数	生徒数										
1年	2	37	2	45	1	32	1	33	1	31	1	32
2年	1	39	1	37	2	45	1	32	1	33	1	31
3年	2	47	1	39	1	37	2	45	1	32	1	33
特支	2	4	2	4	1	3	1	2	1	1	1	3

明智小学校の児童数の推移



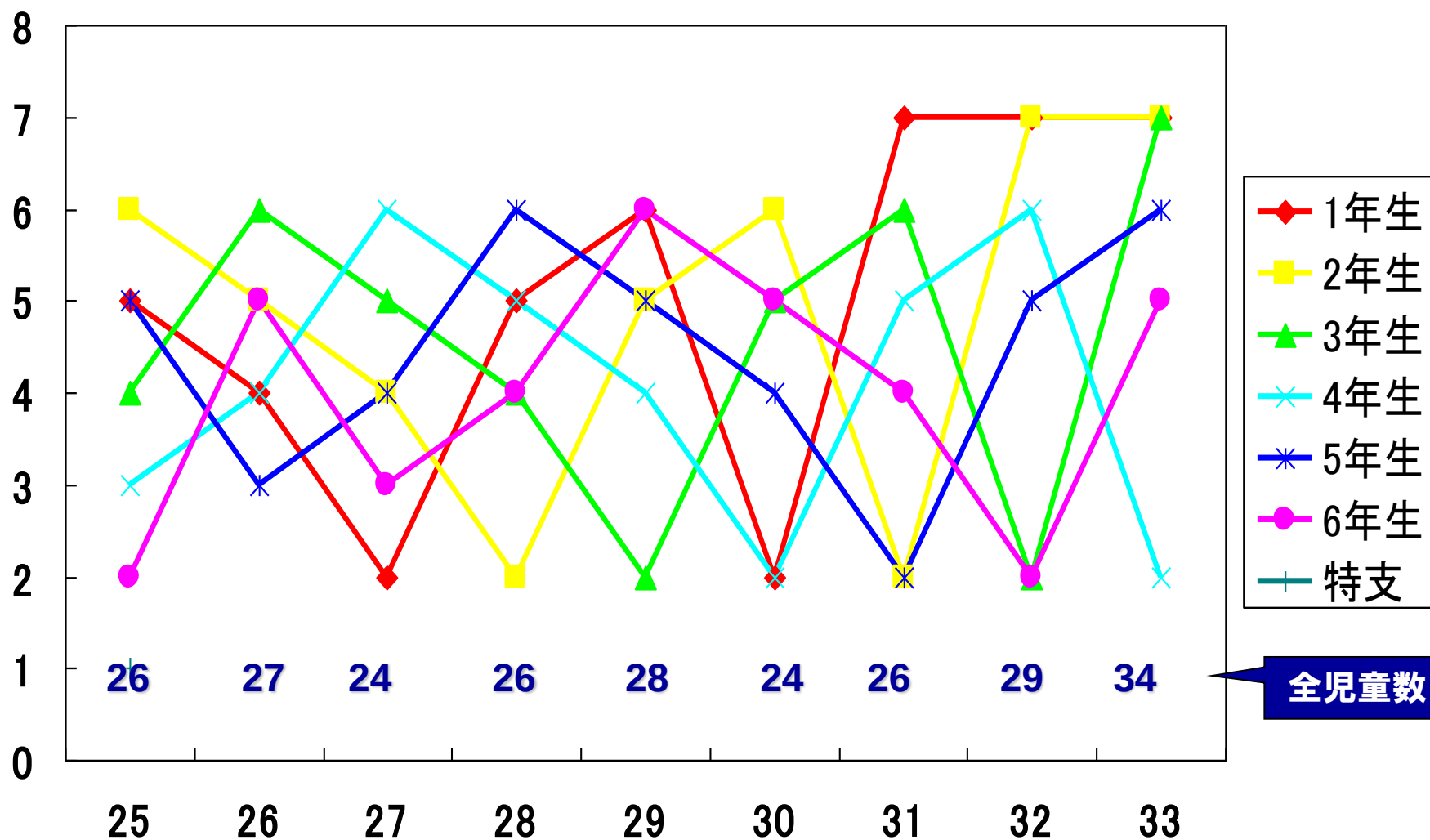
明智中学校の生徒数の推移



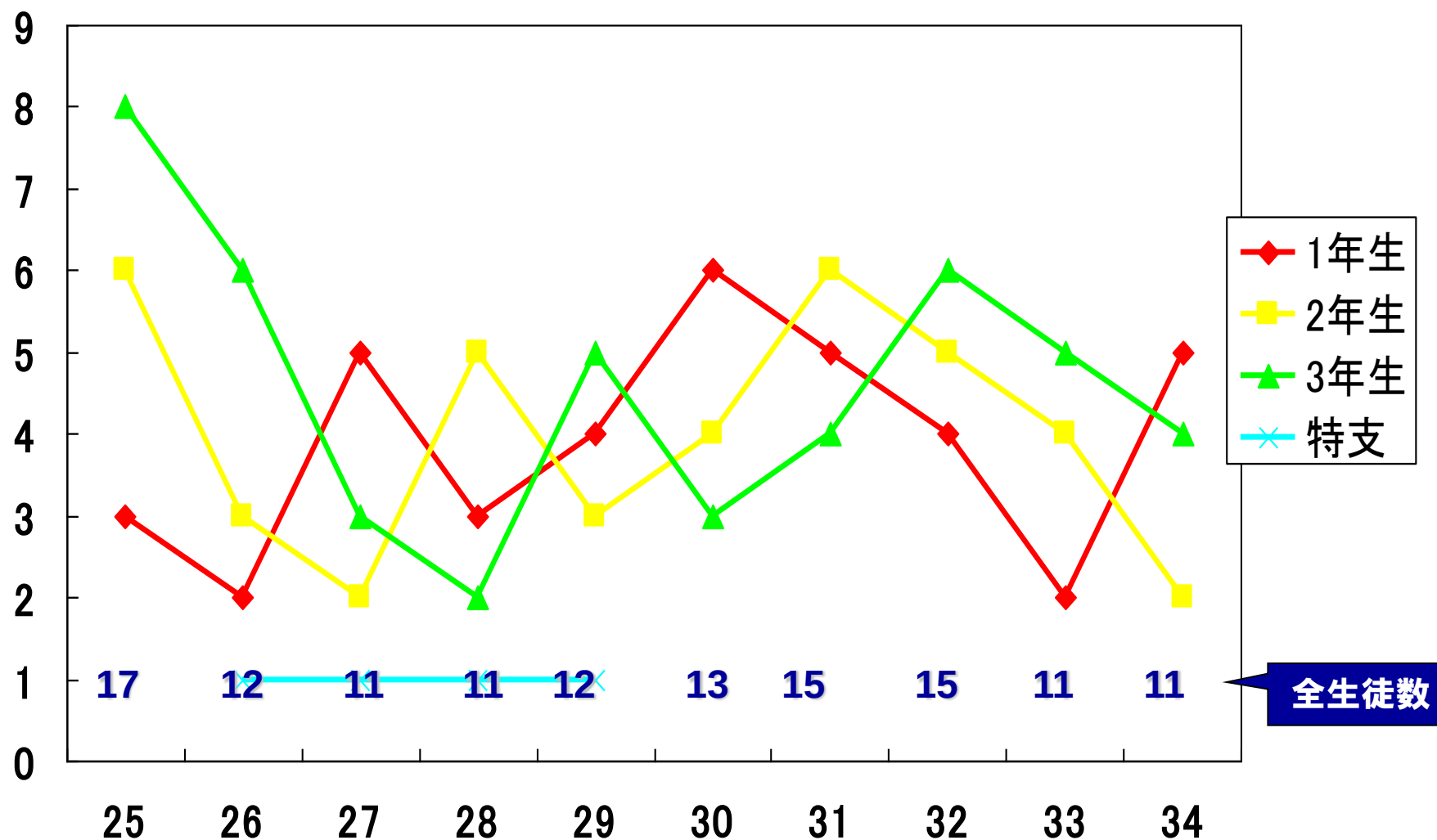
明智中の学級数と生徒数の推移

	H26		H27		H28		H29		H30		H31	
	学級数	生徒数										
1年	2	38	2	37	2	38	2	42	1	34	1	35
2年	2	53	1	38	1	37	1	38	2	42	1	34
3年	2	53	2	53	1	38	1	37	1	38	2	42
特支	2	4	2	6	2	5	2	3	2	3	2	2

串原小学校の児童数の推移



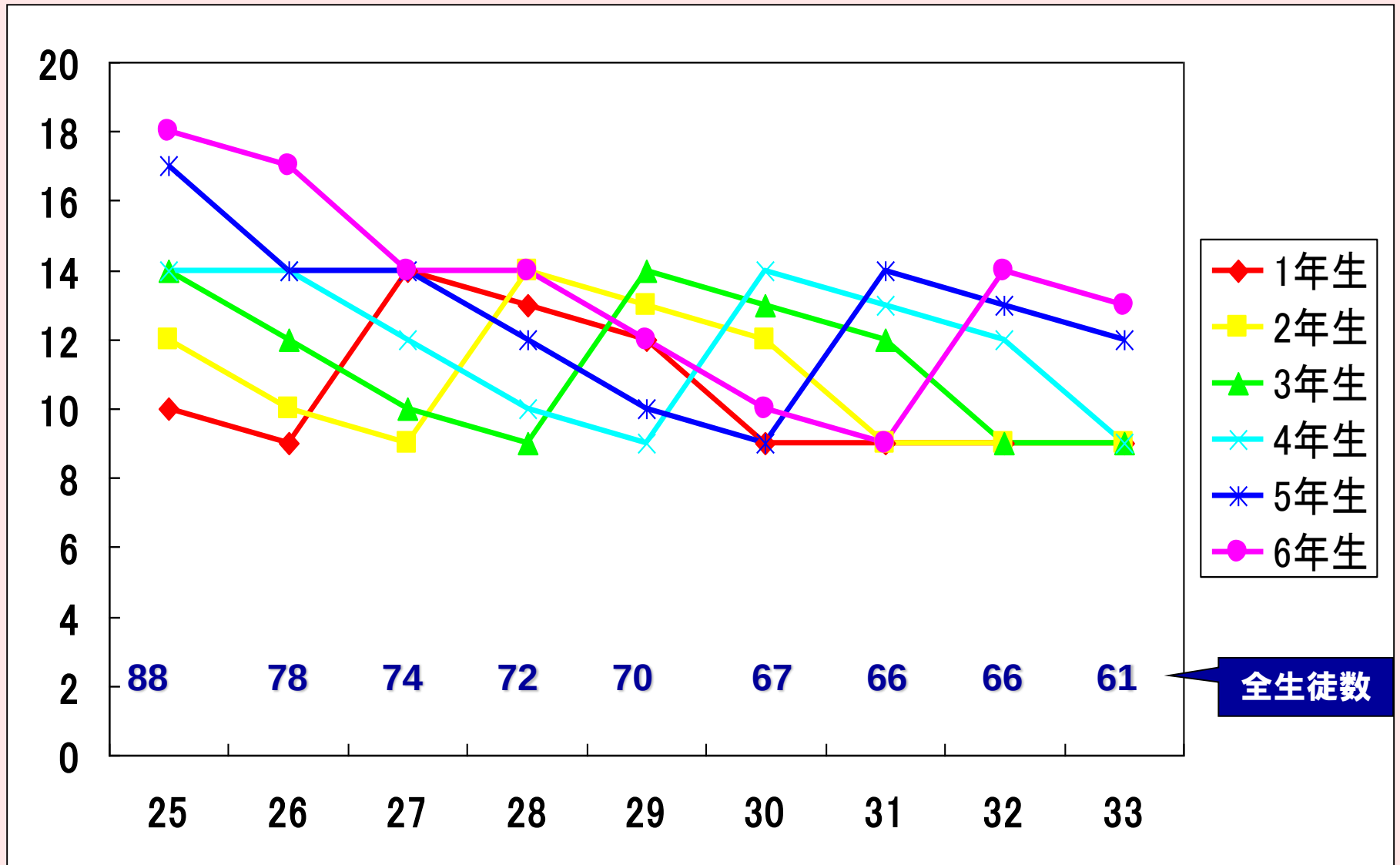
串原中学校の生徒数の推移



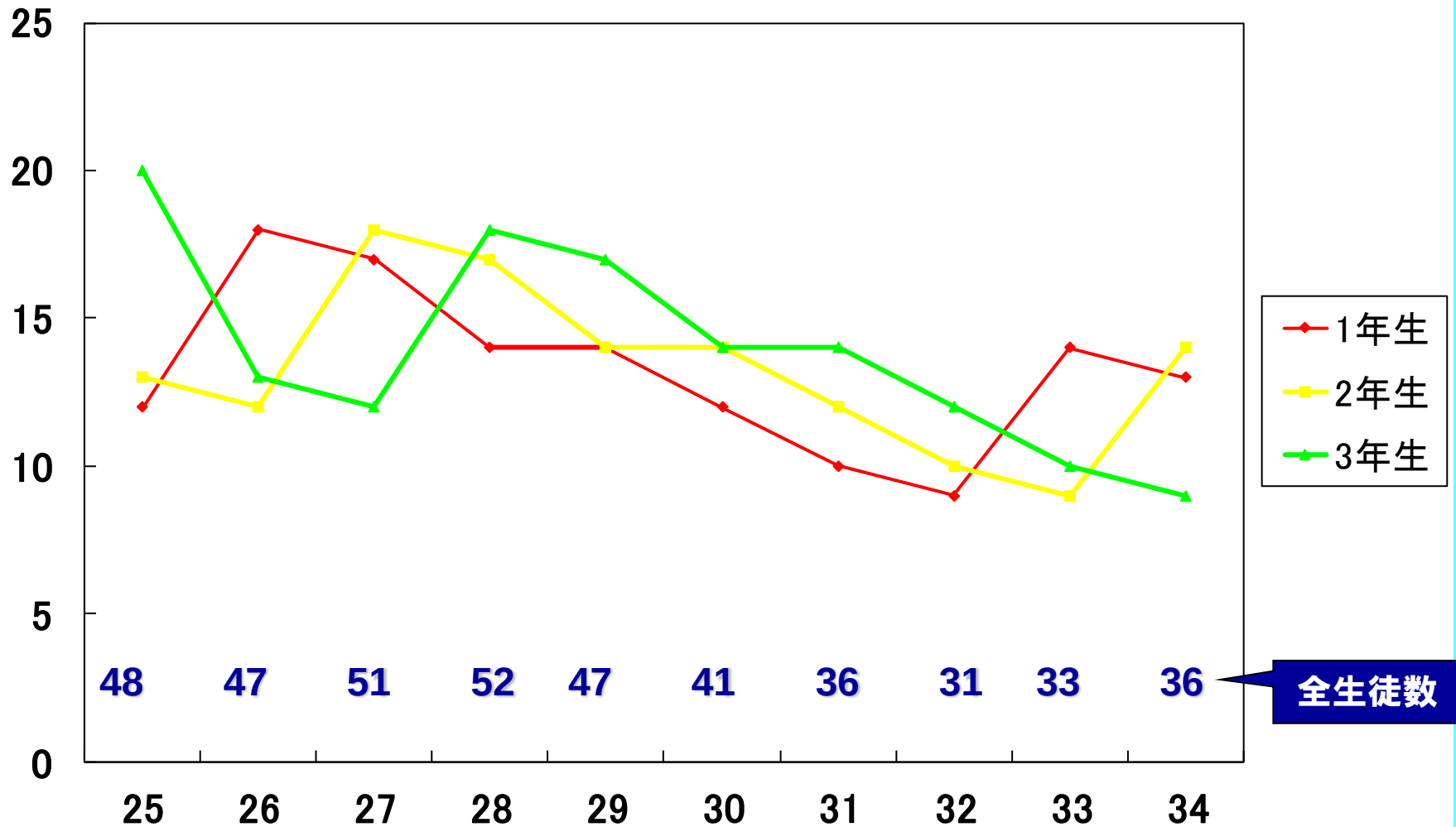
串原中の学級数と生徒数の推移

	H26		H27		H28		H29		H30		H31	
	学級数	生徒数										
1年	1	2	1	5	1	3	1	4	1	6	1	5
2年	1	3	1	2	1	5	1	3	1	4	1	6
3年	1	6	1	3	1	2	1	5	1	3	1	4
特支	1	1	1	1	1	1						

上矢作小学校の児童数の推移



上矢作中学校の児童数の推移

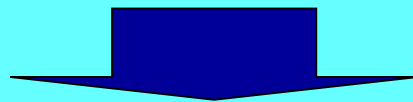


上矢作中の学級数と生徒数の推移

	H26		H27		H28		H29		H30		H31	
	学級数	生徒数										
1年	1	18	1	17	1	14	1	12	1	12	1	10
2年	1	12	1	18	1	17	1	14	1	12	1	12
3年	1	13	1	12	1	18	1	17	1	14	1	12
特支	2	4	2	3	2	2	1	1	1	1		

恵那南地区の生徒数の推移

- 岩邑中学校⇒しばらくは単学級にならない
- 山岡中学校⇒平成29年度に単学級
- 明智中学校⇒平成37年度に単学級
- 串原中学校⇒単学級、全校生徒10～20名
- 上矢作中学校⇒単学級、全校生徒50名前後



中学校は恵那南地区全体での動きづくりの必要性がある

再編についての構想案



**上矢作
中学校
(31名)**



**串原
中学校
(15名)**



**明智
中学校
(110名)**



**岩邑
中学校
(150名)**

(仮称)
**恵那南中学校
(402名)**



**山岡
中学校
(96名)**



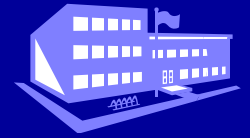
**恵那東中学校
(418名)**

**恵那北中学校
(88名)**

**恵那西中学校
(403名)**

新中学校のメリット

(仮称)
恵那南中学校
(402名)
各学年4学級



- 学校に活気が出る。
- 多くの生徒との仲間関係ができる。
- クラス替えができ、毎年新しい気持ちで新年度を迎えることができる。
- 仲間と競い合いながら能力を高めることができる。
- 男女比のバランスがよい。
- ほぼすべての教科で、専門の教科担任が指導できる。
- 多くの部活動があり、その中から好きな部活動を選択できる。

適正規模の中学でしか
経験できないこと

今しか!

経験できないことが・・・



ご清聴
ありがとうございました。